

質疑・回答書

告示番号	豊中市上下水道局告示第37号	件 名	令和元年度猪名川流域下水道原田処理場3系B列最終沈殿池設備更新工事
No	質疑事項	回 答	
1	着工前の池内排水については、処理場様にて実施して頂けると考えてよろしいですか。また、排水後に汚泥ピット内に残留した汚泥の処理は工事範囲外と考えてよろしいですか。	着工前の池内排水については、質疑事項のとおりですが、排水後に残留した汚泥の処理につきましては、工事範囲となります。	
2	特記仕様書P14、§1鋼製加工品類 3. 製作条件(7)に「機器・架台設置により、既設照明器具～等が支障となる場合の移設は、本工事に含む。」とありますが、既に想定されている障害物があればご教示願います。	想定している障害物はありません。 ただし、施工方法によっては、移設が発生する場合があります。	
3	特記仕様書P15、§2基礎工 2. 基礎工仕様及び施工範囲の通りに、池底コンクリートの更新は床面全面を対象としますが、研り深さをご教示願います。	終沈池底コンクリートの研り深さにつきましては、50mm(レール部は100mm)となります。	
4	特記仕様書P18、§3配管工 2. 配管仕様及び施工範囲の特記事項1)に「設備影響を最小限に留めるため、CD列系統へ仮設間を設けること(※1余剰汚泥管)」とありますが、想定ルートがあればご教示願います。また、特記事項2)に「設備影響を最小限に留めるため、施工時期・施工期間を考慮すること(※2スカム配管)」とありますが、想定施工時期と期間をご教示願います。	CD列系統への余剰汚泥仮設配管の想定ルートは別紙2のとおりです。 スカム配管の施工時期につきまして、令和2年春～秋(期間は1～2か月)で想定しております。 ただし、具体的な施工時期及び施工期間につきましては、運転操作・維持管理及び関連工事との調整が必要です。	
5	特記仕様書P18、§3配管工 8. 特記事項(2)に「液位計への洗浄水送り用として～」とありますが、どこの液位計であるかご教示願います。	汚泥ピット液位計となります。	